

◆ News Release ◆

株式会社阪急交通社

阪急交通社グループ 旅行概況(2月分)について

2025年2月の旅行取扱実績について、下記のとおりお知らせします。

株式会社阪急交通社

(単位:千円)

区 分	取扱高	前年 同月取扱高	前年 同月比	2019年度 同月取扱高	2019年度 同月比
海外旅行	11,556,428	9,562,181	120.9%	8,170,221	141.4%
国内旅行	10,312,800	8,746,391	117.9%	6,613,816	155.9%
訪日旅行	114,836	23,670	485.2%	62,761	183.0%
合 計	21,984,064	18,332,242	119.9%	14,846,798	148.1%

【概況】

2月の営業概況は、総取扱額 219億8,406万4千円、前年同月比 119.9%となりました。

海外旅行は、2月の出国日本人数が2019年同月比で76.9%となり、前月より14.1ポイント増加しました。これにより、市場の回復が進んでいます。

こうした状況の中、当社では好調のエジプト、トルコ、ドバイや欧州、台湾を中心に募集告知を継続的に行ったほか、カナダや北欧のオーロラ鑑賞ツアーの販売を強化しました。その結果、エジプト、トルコ、ドバイの集客数は前年及びコロナ禍前を上回り、オーロラツアーが好調に推移したカナダでは前年同月比 1.5 倍となり、堅調なアジア方面に加えて、長距離方面も伸長しました。

海外旅行全体の取扱高は、前年同月比で 120.9%となり、前年を大きく上回り、回復が進みました。

国内旅行は、2月の日本人延べ宿泊者数は96.4%と前年を下回り、物価上昇の影響により需要の鈍化が見られました。

こうした中、当社では、北海道の雪まつりや流氷クルーズのほか、季節感のある雪景色を素材とした商品の販売を強化しました。東北では、横手市の「かまくらまつり」など冬季イベントを開催したほか、樹氷観賞やストーブ列車など、この時期ならではの魅力にこだわった商品企画に取り組みました。一方、温暖な沖縄においては、八重山諸島など離島の販売促進を行った結果、北海道、東北、沖縄を中心に集客が好調に推移しました。

国内旅行全体の取扱高は前年同月比117.9%となり、前年を大きく上回りました。

株式会社阪急阪神ビジネスラベル

(単位:千円)

区 分	取扱高	前年 同月取扱高	前年 同月比	2019年度 同月取扱高	2019年度 同月比
海外旅行	2,488,721	2,902,742	85.7%	1,583,362	157.2%
国内旅行	134,086	146,772	91.4%	164,268	81.6%
訪日旅行	9,647	77,191	12.5%	27,483	35.1%
合 計	2,632,455	3,126,707	84.2%	1,775,114	148.3%

※前年および2019年度同月取扱高は、阪神トラベル・インターナショナルの取扱高を合計し、2社内取引を相殺したものです。

【概況】

2月の営業概況は、総取扱額26億3,245万5千円、前年同月比84.2%となりました。

海外旅行は、中国の査証が不要となり、渡航規制の緩和が進んだものの、査証取得手数料などの取扱高が減少し、前年同月比85.7%となりました。

国内旅行は、企画旅行および業務出張が堅調に推移したものの、前年の大型団体受注による反動減があり、前年同月比91.4%となりました。

グループ2社合計取扱額

株式会社阪急交通社、株式会社阪急阪神ビジネスラベル

(単位:千円)

区 分	取扱高	前年 同月取扱高	前年 同月比	2019年度 同月取扱高	2019年度 同月比
海外旅行	13,717,408	12,040,457	113.9%	9,700,991	141.4%
国内旅行	10,422,733	8,862,416	117.6%	6,718,983	155.1%
訪日旅行	124,483	100,861	123.4%	90,244	137.9%
合 計	24,264,624	21,003,734	115.5%	16,510,218	147.0%

※グループ内取引を相殺したものです。

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社阪急交通社 広報部

〒105-0004 東京都港区新橋3-3-9 TEL:03-6745-7333 / FAX:03-6745-7351

〒530-0001 大阪市北区梅田2-5-25 TEL:06-4795-5711 / FAX:06-4795-5724